

# 学校評価 第2回 教職員アンケート考察

令和3年12月22日  
安謝小学校

合計50項目	第1回との比較：UP→12	Down→19	維持→19
--------	---------------	---------	-------

## (1) 肯定回答の高い項目（平均評定3.8以上）の変容

- ・問5「学年目標や学年のきまり等の共通理解を図っている」 ↓0.2
- ・問6「児童理解に基づき、好ましい人間関係を築く学級（教科）経営をしている」 →0
- ・問21「特別支援教育について全職員の共通理解のもと実施されていると思う」 ↓0.1
- ・問39「公簿等は適切に整理・保管されている」 ↓0.1
- ・問40「個人情報の取り扱いに十分配慮している」 ↓0.1
- ・問42「保護者や地域からの要望は、学年や管理職へ迅速に報告し、誠実に対応するよう努めている」 ↓0.1

※第2回で3.8以上に入った項目

- ・問33「安全点検の実施と対策は適切であると思う。」

## (2) 意識すべき項目（平均評定3.2以下）の変容

- ・問10「身につけたい力を踏まえたためあての設定・提示を行い、めあてに正対したまとめ、振り返りを確実に実施している」 ↑0.1
- ・問13「学習のねらいの達成に向けた交流学习を設定している」 →0
- ・問17「道徳科の評価について理解し、指導に生かしている」 ↑0.1
- ・問18「特別活動では、具体的な目標を持たせ目的意識を育むとともに、成長が実感できる活動を工夫している。」 ↑0.2
- ・問43「地域行事やPTA活動に積極的に参加し、連携を深めるよう努めている」 →0
- ・問48「総合的な学習の時間では、児童が主体的に問いを見だし、情報を調べたり、表現したりすることができていると思う」 ↑0.1
- ・問49「保育園、こども園などとの連携や情報交換ができている」 ↑0.1

※第2回で3.2以下に入った項目

- ・問7「学習の状況がわかる、児童の自己存在感を育む等、掲示物の工夫に努めている」
- ・問16「道徳科の授業を、内容項目を確認し、年間計画通り実施して、教育活動全体で道徳教育を進めている。」

## (3) 今後の改善点

教職員アンケートは50項目にわたって職員に振り返りアンケートを行っているが、全体として極端に低い項目はなく、唯一問43「地域行事やPTA活動に積極的に参加し、連携を深めるよう努めている。」についてのみ肯定回答71%（第1回は69%）の平均評定2.8と、平均数値が3.0を下回っている。しかしこの項目は、新型コロナウイルスのため地域行事が開催できず、PTA活動も制限されている現状があり、ここ最近では学年レクや校内童話お話大会も再開されているため、今後は改善されそうである。

「肯定回答の高い項目」については、職員の意識として全体的に少し落ち込んでいる。しかしその中で、上記問6「児童理解に基づき、好ましい人間関係を築く学級（教科）経営をしている」について平均3.8と高く推移しており、児童アンケートの「仲の良い友達がいる」が3.9と同じく高くなっていることと相まって、本校の強みとして今後力を入れて推進していきたい。問21、問33も同様である。

「意識すべき項目」については、全体的に意識が高まり第1回の反省を踏まえて意識が高まり改善に繋がりがつつある。しかし問7や問16のように、掲示物についてや、道徳科の内容項目の確認などについてこれから学校全体で努力する必要がある。学級の掲示物について学年全体で確認し合ったり、道徳の内容項目のチェックリストを配布したり、別業の活用などを推進したい。